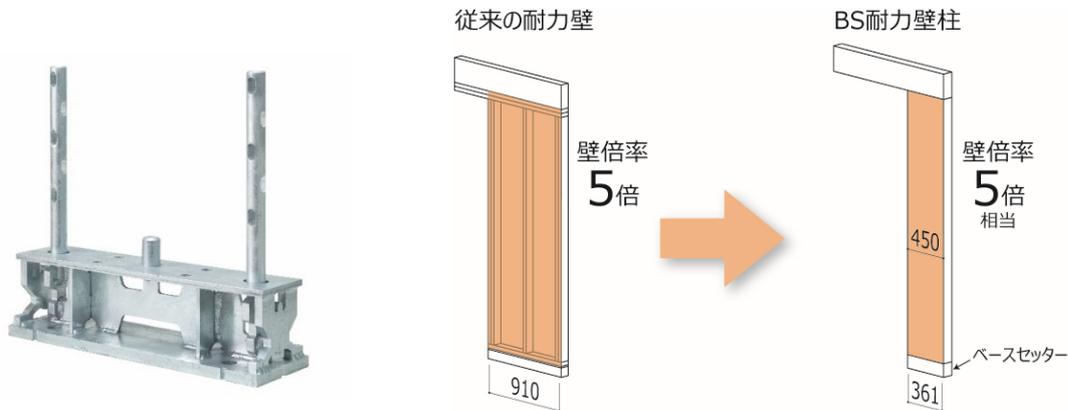


2019年10月1日

ベースセッターが枠組壁工法に対応 ～ツーバイフォーでも大きな開口や開放的な空間が可能に～

BXカネシン株式会社（代表取締役：二村一久）は、450mm幅の狭小耐力壁を可能にする柱脚金物「ベースセッター」が枠組壁工法でも対応できるようハウスプラス確認検査株式会社の評価を取得し、10月1日より運用を開始しました。ベースセッターは、基礎と450×105mmの平角柱を接合することで450mm幅の「ベースセッター耐力壁柱」を形成し、一般的に使用される910mm幅の壁倍率5倍の耐力壁と同等の耐力を発揮します。



市街地などに多い狭小地では、構造上必要な耐力壁を配置すると大きな開口や広い間口、間仕切り壁のない開放的な空間を設計することが難しくなります。耐力壁不足を補うために門型フレームが使用されることもありますが、枠組壁工法は在来軸組工法に比べて対応できる門型フレーム製品が少ないのが現状です。「ベースセッター耐力壁柱」は独立配置で設計でき、高さは6mまで対応できるため、プランの自由度を格段に向上させることができます。狭小地での3階建て耐震等級3の住宅や吹抜けのある住宅、店舗や保育園などの多目的木造建築（非住宅）でも、耐震性と設計の自由度を両立させた設計が可能です。

構造計算は構造設計者が誰でも容易に行えるよう、当社オリジナルの検定ツール^{*}を無償提供します。市販されている構造計算ソフトによる許容応力度計算と当社が提供する検定ツールを使用するだけで、簡単に構造計算を行うことができ、複雑な構造計算は不要です。

^{*}検定ツールは、当社ホームページからダウンロードできます。（初回のみユーザー登録必要）

今回の評価取得により、丸太工法を除くほぼすべての木造住宅でベースセッターが使用可能となりました。今後も木造建築の可能性が拡がり、プランの自由度を高める製品開発を進めてまいります。

●製品に関するお問合せ

BXカネシン株式会社 営業統括部 Tel. 0120-106781

●本ニュースリリースに関するお問合せ

BXカネシン株式会社 広報室 井上 Tel. 03-3696-6781